

company

# 日本ヴォーグ社

## 新社屋移転でイベントスペースなど拡大 百恵さん『時間の花束』が大ヒット

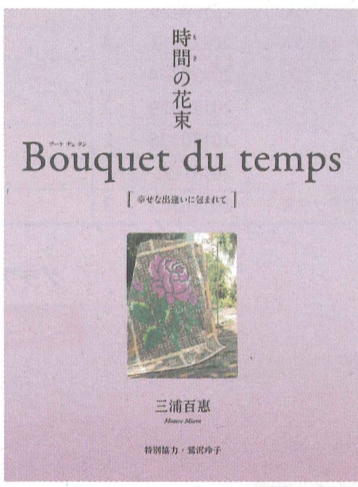
クラフト、ハンドメイドの分野で出版や教育、イベントなど多角的な事業を展開する日本ヴォーグ社は、2017年に本社社屋を移転し展示会やセミナーなどのスペースを拡大。商品・サービス別だった組織をジャンル別の5つのディビジョンに再編するなど新たな時代に向けた取り組みを強化。システムではこのほど新OSに対応する経理システムを導入した。また、今年には三浦百恵さんの作品集『時間の花束』の大ヒットといううれしいニュースもあった。



500平方メートルのCRAFTING ART GALLERY



東京メトロ丸の内線 中野富士見町駅から徒歩約520メートルの新社屋



20万部を超えるヒットとなった『時間の花束』

### 日本ヴォーグ社

創立:1954年5月8日  
 代表者:瀬戸信昭  
 資本金:4000万円  
 従業員:190人  
 所在地:〒164-0013東京都中野区弥生町5丁目6番11号

### 1フロア1000平方メートルに

同社は1954年に創業し、手芸に関する雑誌・書籍の刊行をはじめとして、学園運営、通信教育、通信販売、イベント、ワークショップなどを展開している。出版事業では定期雑誌7誌を発行し、書籍は年間100点ほどを刊行する。

社屋は1971年から40年以上にわたって所在した東京・新宿区市ヶ谷の12階建て旧ビルから、東京・中野区の1フロア1000平方メートル4階建ての物件に移転した。

「前の社屋は多層階だったので部署間の行き来が少なかったのですが、1フロアでいろいろな部門の人が顔を合わせて話しやすくなったので、部門間の壁がなくなってきたと感じます」と経営管理部経理課・内山修平課長は話す。

2階には1フロアを使ったフリースペース「CRAFTING ART GALLERY(クラフティングアートギャラリー)」を開設。大規模な展示会からセミナーやワークショップなども開催することができる。隣接してギャラリーカフェ「Colors(カラース)」もあり、来場者が食事をしたりくつろぐこともできる。

### スマホアプリなども開発

こうしたファンとリアルにつながる場を充実させる一方で、半年の期間で教材や動画で手軽に学べる通信講座「テナライ」を開設。

さらにスマートフォンやタブレットでいつでもどこでも学ぶことができるアプリ「CRAFTING」も開始するなど、デジタル分野にも力を入れる。

無料動画など多い中で、「教材キッ

トも提供し、添削や問い合わせにも対応するなど、無料動画とは一線を画した高付加価値なサービスを追求しています」と内山課長は説明する。

東京、大阪、札幌、横浜、名古屋、福岡で開講している「ヴォーグ学園」も生徒数は増加しており、「手芸市場自体は決して悪くありません。大事な人へのプレゼントを作ったり、人の作品と見比べてたりする楽しみ方を提案していけば可能性は広がります」と(内山課長)と見ている。

また、こうした事業内容の変化に対応して、以前は出版物、教材、通信教育、通販、会員制度など販売手段別に分かれていた組織を、顧客目線で「ニット」「ソーイング」「キルンアート」「ジェネラル」「キルト&ステッチ」という手芸のジャンル別の5つのディビジョンに変更した。

### システムの使い勝手が変わらないことメリット

経理システムは光和コンピューターの「X-Payment(クロス・ペイメント)」を2008年から利用してきたが、WindowsのサーバーOSの保守が2020年1月で終了することから入れ替えを検討。数社を比較したが「慣れ親しんだシステムで対応できる」との理由で「X-Payment」の入れ替えで対応した。

結果として「使い勝手は全く変わりませんでした」と内山課長。しかし「いちからマニュアルを作ったりシステム連携のための作業をする必要もありませんでしたし、それぞれ社員が自分で行う経費や伝票の入力作業も変えずに済んだので現場に負担をかけることもあり

ませんでした」という。

### 『時間の花束』が4刷20万5000部に

多角的な事業を展開する同社だが、今年には大きなヒットがあった。

7月26日に初版10万部で発売した三浦百恵さんのキルト作品集『時の花束』が、これまで累計で4刷20万5000部に達したのだ。

百恵さんが公式に姿を見せるのは引退以来初めてということもあり、同社が刊行を発表した直後からマスコミの取材が殺到、NHKのニュースでも取り上げられた。

そのため「手芸書とは全く違う配本をしました」と営業部・和田琢哉部長。「発売日に紀伊國屋書店新宿本店でみると、最初に購入されたのは50代ぐらいの男性でした」とかつての百恵ファンも手に取り、7割ほどの消化率になっている。

ただ、百恵さんは30年以上にわたってキルト作りを続け、作品としてのクオリティーは高いという。今回の作品集も同社の編集者・今ひろ子さんとの長年培った信頼関係から生まれたものだという。

2016年から各地で開催しているイベント「キルト&ステッチショー」では、今年の日玉企画として同書収録作品の特別展を開催。12月12日には大阪、来年5月8～10日には広島、さらに名古屋、新潟での開催も準備している。

和田部長は「話題になったことで若い女性も手に取っています。これから広告宣伝にも力を入れるので、キルトファンにも百恵ファンにもなるべく多くの方にお届けしたい」と話している。



**BOOK EXPOに出展!!**  
 11月6日(水)に開催される、BOOK EXPOに展示いたします。是非お立ち寄りください。

## 電子マネー決済をこれ一台で

これからの マルチ決済端末

# PAYGATE Station

各社決済会社の独自仕様により複雑化した日本の電子決済、店舗への導入において大きなネックになっていました。PAYGATE Stationは複雑化された電子決済を、たった一台で解決します。これからのキャッシュレス時代をよりシームレスに実現化させる製品です。

### マルチ決済対応



### 対応ブランド



株式会社光和コンピューター 東京都千代田区岩本町 3-1-2 岩本町東洋ビル  
 E-MAIL kowa@kowa-com.co.jp WEB http://www.kowa-com.co.jp

お問合せ ☎ 03-3865-1982 (担当 多田)

当社にて製品のご説明とデモンストレーションを行っております。

PAYGATE Stationは、磁気クレジットカード、接触ICクレジットカード、タッチ決済(NFC)、FeliCa系電子マネー<sup>※1</sup>、QRコード決済<sup>※2</sup>、共有ポイントに対応したマルチ決済端末で、セキュリティ面でもP2PEソリューション認定<sup>※3</sup>で安心安全なマルチ決済端末です。

※1 電子マネー搭載機能は2019年7月以降順次リリース予定です。  
 ※2 QRコードの商標は株式会社デンソーウェーブの商標登録です。  
 ※3 PAYGATE Stationは2019年2月にPCI P2PEソリューションプロバイダー認定されています。

### 充実の機能

#### OS/通信機能搭載



Android 5.X



4G・3G/Wi-Fi

#### プリンター機能搭載



高速印刷  
 サーマルプリンター  
 58mm/40mm

- クレジットカードも電子マネーもStationひとつで
- オールインワンデバイス
- Androidベースで連携開発可能
- 電子マネー 非接触IC
- バーコードリーダー
- 分割払いや継続決済にも対応

### 価格(税別)

端末価格	中小企業様には無償貸与 ※中小企業様以外 70,000円
月額利用料金	中小企業様には2020年6月まで無償 ※中小企業様以外、上記期間以降は月額5,000円
決済手数料	3.24%を予定 ※2020年6月まで補助金より1/3が補助されます。 ※ネットワーク環境設定は別途ご相談ください。

\*1 キャッシュレス決済に対して消費者に5%のポイント還元されます。2020年4月まで申請可能です。